

第8回懇談会における質疑への回答

2006. 01. 27
(株)生活行動研究所
所長 西ヶ谷 葉子

第8回懇談会における質疑について以下のとおり回答いたします

- ・ 1. 前回提出した「消費者金融会社利用者アンケート調査」の手法
および調査目的について P3
- ・ 2. 消費者金融の借入目的について P4
P5
 - ・借入目的と借入先のクロス集計表 P6
- ・ 3. 金利に関する意識について P7
- ・ 4. 事業者ローンの利用者の利用理由について P8
 - ・事例紹介 P9
P10
- ・ 5. フリーローンの借入金残高と借入先について
 - ・フリーローンの借入金残高と借入先資料

1. 前回提出した「消費者金融会社利用者アンケート調査」の手法および調査目的について

調査方法

- 実施時期……2001年3月(2週間)
- 実施エリア……首都圏及び京阪神
- 配布場所……消費者金融会社20社の店頭
- 配布数(回収)… 2,500部(1,128部)
- 実施方法……返信用封筒ごと配布(顧客への心理負担配慮)
※内容は一切社員の目にも触れないように実施

目的

- 「消費者金融の利用実態と意識の把握」
- 「ヤミ金融」被害の実態調査
※2000年頃からいわゆるヤミ金融の被害が拡大したため

※本アンケート調査結果をもとに前回懇談会資料を作成、引用した内容は以下に記載
前回懇談会資料、P2消費者金融利用者の属性、P3消費者金融を認識した契機、P4消費者金融の利用目的、
P5・6金利に関する意識、P7(消費者金融会社以外からの利用状況、消費者金融会社以外のカード保有状況)

2. 消費者金融の借入目的について

借入先の規模別に各種ローンの利用目的や借入先、消費者金融の利用件数などを比較してみた。

本アンケートは地域別に集計してある。利用者の多い首都圏のサンプルでクロス集計したのを見ると、消費者ローン利用目的のうち「借入金の返済」をあげたのは全体では9.5%であり、大手利用者の場合は9.2%、中小利用者では10.7%である。

※集計内容については次ページ参照

借入目的と借入先のクロス集計表

		全体	大手 利用者	中小 利用者
住宅ローン以外の 利用目的 (複数回答、単位：%)	交際費・付き合いのための資金	42.3	41.3	45.9
	国内旅行・レジャー	22.9	22.5	24.6
	生活費の補填	21.7	20.7	25.4
	小遣いの補填	21.2	21.1	21.3
	海外旅行	13.6	13.3	14.8
	冠婚葬祭の費用	13.4	11.2	21.3
	自動車購入資金	13.2	13.3	13.1
	パソコン購入	12.7	12.6	13.1
	家電製品購入	9.7	10.3	7.4
	借入金の返済	9.5	9.2	10.7
	洋服・ハンドバッグ購入	8.8	8.8	9.0
	ギャンブル	8.3	7.9	9.8
	事業資金	8.3	7.9	9.8
消費者金融会社以外 の消費者ローン借入先 (複数回答、単位：%)	銀行・郵便局	26.0	28.2	18.3
	銀行系クレジットカード会社	37.8	39.7	30.8
	流通業(流通系クレジットカード)	10.8	11.3	9.2
	信販・ファイナンス会社	29.1	29.6	27.5
消費者金融会社の平均利用件数 (単位：社)		2.6	2.3	3.4

3. 金利に関する意識について

～高くてもかまわない、利便性優先、短期利用なので合理的など～

今後利用する消費者金融会社を選ぶときの理由

(複数回答)

①規模が大きい会社 . . . 43. 2%

②金利が低い会社 . . . 39. 3%

③立地条件がいい会社 . . . 31. 0%

④接客態度がよい店(会社) . . . 21. 2%

⑤いろいろ相談にのってくれる店(会社) . . . 20. 3%

4. 事業者ローンの利用者の利用理由について

前回懇談会では口頭にて報告したが、事業者向け
(ビジネス)ローン利用者の事例を、次ページに列記した。

事業者ローン利用者の利用理由の事例紹介

事例1

ベンチャービジネスには、銀行は融資してくれない。銀行は歴史(事業実績)とか前例だけで融資の可否を判断する。だから、ビジネスローンを利用して事務所を借りた。それは1件のプロジェクトで返済できた。

事例2

つなぎ資金として銀行にローンを申し込んだところ、なかなか返事が来なくて、やむをえずノンバンクから借りた。2ヵ月後に、銀行から融資実行の知らせがあったが、そのときはもう資金の必要はなくなっていた。

事例3

銀行でも融資してもらえるが、100万円単位の融資なら、ビジネスローン専門の会社のほうが、スピーディに対応してくれるし、「お貸ししますから、代わりに預金を積んでください」とかの見返り条件を出されることもない。

事例4

仕入資金のために短期の中小企業向け金融商品を利用している。年利で見るとちょっと高いと思うが、それよりも、「仕入れられない」というほうがこわい。回転が早ければ、われわれのビジネスはうまく回る。

事例5

レストランを始めたときに、中小企業向けローンを借りた。順調に売上げを上げていたので返済が滞ったことはない。それが評価されたのか、徐々に金利の低いローンを紹介され、切り替えることができた。(銀行と違って)まじめに入金・返済していれば、「次はこの商品が使えます」というかたちでランクアップされるのがいい。

5. フリーローンの借入金残高と借入先について

冒頭で紹介したアンケート調査では、回答者の年収や貯蓄額は質問していない。

そこで、金融広報中央委員会の「家計の金融資産に関する世論調査」

(旧・「貯蓄と消費に関する世論調査」)から、フリーローン利用世帯の

内訳を見ることにする。貸金業者を利用しているのは、

年収300万円未満で、世帯主が20歳代、非持家が中心であるが、

1,000万円以上の所得者、中・高年齢層、持家でも利用者は存在する。

なお、これは、「世帯」単位の調査であり、単身者は含まれない。

※集計内容については次ページ参照

フリーローンの借入金残高と借入先資料

		クレジット・貸金業者からの借入金額		フリーローンの借入金額 (万円)	借入の目的		
		クレジット会社等	貸金業者		日常生活資金	耐久消費財購入	旅行・レジャー資金
		(万円)	(万円)		(%)	(%)	(%)
全国	1997(平成9)年	26	3	69	9.5	26.0	3.0
	1998(平成10)年	26	3	74	9.1	26.5	3.9
	1999(平成11)年	21	3	76	10.9	22.7	2.8
	2000(平成12)年	24	4	71	11.3	23.5	2.2
	2001(平成13)年	26	4	74	10.8	23.4	2.7

以下は2001年の調査結果

世帯主職業	自営業主	25	6	124	14.4	21.8	2.1
	事務系職員	13	1	41	6.9	18.1	3.8
	労務系職員	34	4	67	10.4	34.5	2.7
	管理職	18	0	45	6.2	15.4	1.9
	自由業	50	15	94	22.4	25.4	1.5
世帯年収	200万円未満	37	16	107	20.4	37.0	1.9
	200～300万円未満	36	12	97	28.3	30.4	3.3
	300～400万円未満	34	1	84	15.7	29.8	3.0
	400～500万円未満	27	7	65	12.1	27.7	2.2
	500～700万円未満	26	4	66	10.3	26.6	3.4
	700～1,000万円未満	21	1	69	5.1	20.5	2.6
	1,000万円以上	17	1	105	3.8	15.3	0.5
世帯主年齢	20歳代	56	15	79	6.7	51.1	8.9
	30歳代	33	1	58	8.8	30.0	3.6
	40歳代	21	3	49	13.3	22.5	2.7
	50歳代	27	4	87	9.4	22.4	1.5
	60歳代	26	7	109	12.5	17.2	3.6
	70歳以上	13	1	61	7.7	20.9	1.1
有無の持家	持家	20	2	62	7.6	18.7	1.6
	非持家	50	13	128	25.2	45.5	7.3

資料:金融広報中央委員会の「家計の金融資産に関する世論調査」(2001年版)

注:現在はこの調査項目は別のものになっている(フリーローンについては質問していない)